

E S T 普及推進フォーラム ラウンドテーブル1【RT1】
(案)

「地球温暖化防止に向けた自動車交通社会のあり方について」

司会 石田 東生 筑波大学大学院 システム情報工学研究科教授

テーブルメンバー

荒平 信行 福山市建設局都市部都市交通課技師（H17年度選定）
井上 隆司 国土交通省道路局地方道・環境課道路環境調査室課長補佐
大野 栄嗣 社団法人日本自動車工業会拡大地球環境部会副部長
小長谷 淳 静岡市役所都市局都市計画部交通政策課長（H18年度選定）
佐藤 克文 国土交通省自動車交通局技術安全部環境課課長補佐
堂前 康 警察庁交通局交通規制課課長補佐

【概要】

E S Tを実現するためには、自動車交通からのCO₂排出量の削減が不可欠となっている。従来から実施している自動車単体対策、交通流対策、道路整備によるハード対策などを対象にした自動車業界、警察機関、道路管理者としての取組みだけでなく、今後はエコドライブや高速道路の利用促進など国民と連携した取組みが必要と考えられる。

具体的には、エコドライブが普及促進していない原因として、ドライバーの知識が不足していることもあげられるが、各自がエコドライブにおこなう時に助けとなるツールや取組みに対するインセンティブを醸成する等、国や自動車業界からの支援が今後必要である。

また、一般道路のように交差点のない高速道路は安定した速度でスムーズに走れることからCO₂が削減できることは、あまり認識されていない。

その他、ETC、VICS、PTPS等によるITS技術を活用し、渋滞を緩和することでCO₂を削減することを推し進めることも重要である。

これらを普及展開するためには何が必要か、聴衆からの意見を交えて議論する。